

2020年12月21日

報道関係各位

*** 2021年（令和3年） ***

ビジネスマン・OLの年賀状に関するアンケート調査

株式会社パイロットコーポレーション

日本独特のお正月の習慣として、また、普段会えない人へのコミュニケーション手段として、私たち日本人にとって欠かすことのできないのが年賀状のやりとり。様々なツールが登場しても、今なお一定の支持を集めています。

当社では、日本人の書き文字文化の象徴とも言える年賀状をテーマに、毎年『ビジネスマン・OLの年賀状に関するアンケート調査』を行っています。今回で41回目となる本調査は、首都圏のビジネスパーソンを対象に、11月24日（火）から約2週間にわたり調査を実施しました。調査結果の詳細につきましては、次ページ以降をご参照ください。

報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社パイロットコーポレーション

Tel. 03-3538-3700

〒104-8304 東京都中央区京橋 2-6-21

【アンケート実施概要】

調査期間 : 2020年11月24日(火)～12月11日(金)

サンプル数(概数) : 401人

年代別サンプル比 :

年齢	男性	女性	合計
20代	49	39	88
30代	59	43	102
40代	43	51	94
50代	67	12	79
60代	20	18	38
計	238	163	401

調査対象 : 首都圏の企業・団体等に勤務する20代～60代のビジネスパーソン

調査方法 : 質問用紙の配付・回収による無記名留置調査

- * 集計データのうち、注釈なきものは、すべて単数回答を百分率化しました。
- * 単一回答でも小数点の都合上、合計値が100%にならないものもあります。
- * 複数回答可の設問では、合計値が100(%)を超えます。

【アンケート集計概要】

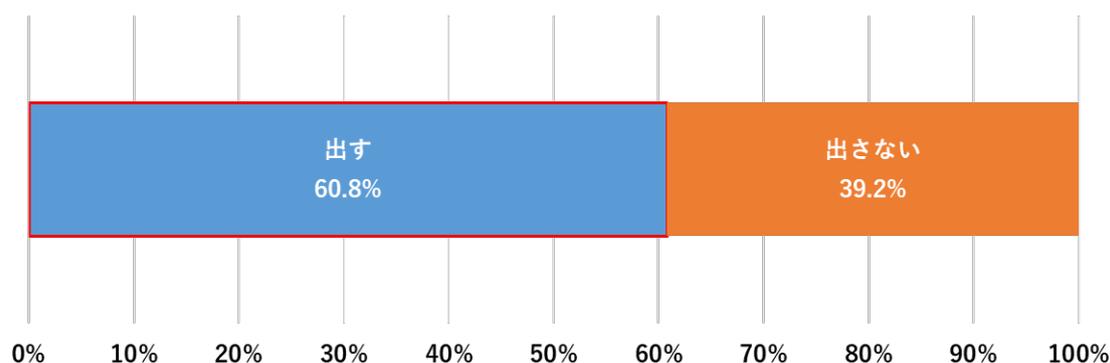
1. 年賀状を「出す」人は約6割。コロナ禍も年賀状を出す理由に。「出さない」のは、LINEでの代用が要因に。年賀状の準備は12月初旬からゆっくり準備する人と仕事納め後に急いで用意する人が多数。
2. 新年の挨拶に使うツールは「LINE等メッセージアプリ」がトップだが、「年賀状」も昨年に続き一定の支持。
3. 年賀状を出す枚数は昨年とほぼ同数も、減少傾向は変わらず。
4. 年賀状を出す相手、「仕事関係」が増加。一方で出たくない相手でも上位に。
5. 年賀状をもらってうれしいのは「友人・知人」。もらってうれしい年賀状はやっぱり「お手製」で、添えられたメッセージの内容に関心。
6. 年賀状を出す人の多くは「手書き箇所あり」。年賀状は「気持ちが伝わる」ことを重視。
7. 「年賀状はあった方がいい」は減少傾向だが、「会えない人との連絡が途絶えて困る」、「お正月らしくなくて寂しい」という声も。

1. 年賀状を「出す」人は約6割。コロナ禍も年賀状を出す理由に。「出さない」のは、LINEでの代用が要因に。年賀状の準備は12月初旬からゆっくり準備する人と仕事納め後に急いで用意する人が多数。

2021年の年賀状を出すかどうかを尋ねた＜年賀状の予定 1-1＞では、「出す」と答えた人は60.8%となり、過去の調査から続く減少傾向は、今年も変わりません。＜年賀状を出す理由 1-2＞は、昨年同様、「新年の挨拶として」(85.2%)、「日頃、無沙汰しているので」(52.5%)が上位になり、次いで、緊急事態宣言や在宅勤務など、なかなか人に会えない状況から「コロナ禍で会えていないので」(39.8%)が数を集めました。一方、＜年賀状の予定 1-1＞で、年賀状を「出さない」と答えた人に＜年賀状を出さない理由 1-2＞を聞いてみると、「LINE等メッセージアプリで代用」(59.9%)、「準備が面倒」(52.2%)が上位に入り、次いで「出す相手がいない」(31.2%)になりました。

また、年賀状を「出す」人に＜年賀状の準備を始める時期／投函する時期 1-3＞を聞いたところ、今年是用意する時期は「12月初旬」と「仕事納め後」が26.2%で同数になりました。投函する時期は半数以上が「仕事納め後」(53.3%)と答え、12月初旬からゆっくり準備する人か、仕事納め後に用意して急いで投函する人に分かれる傾向にあることがわかりました。

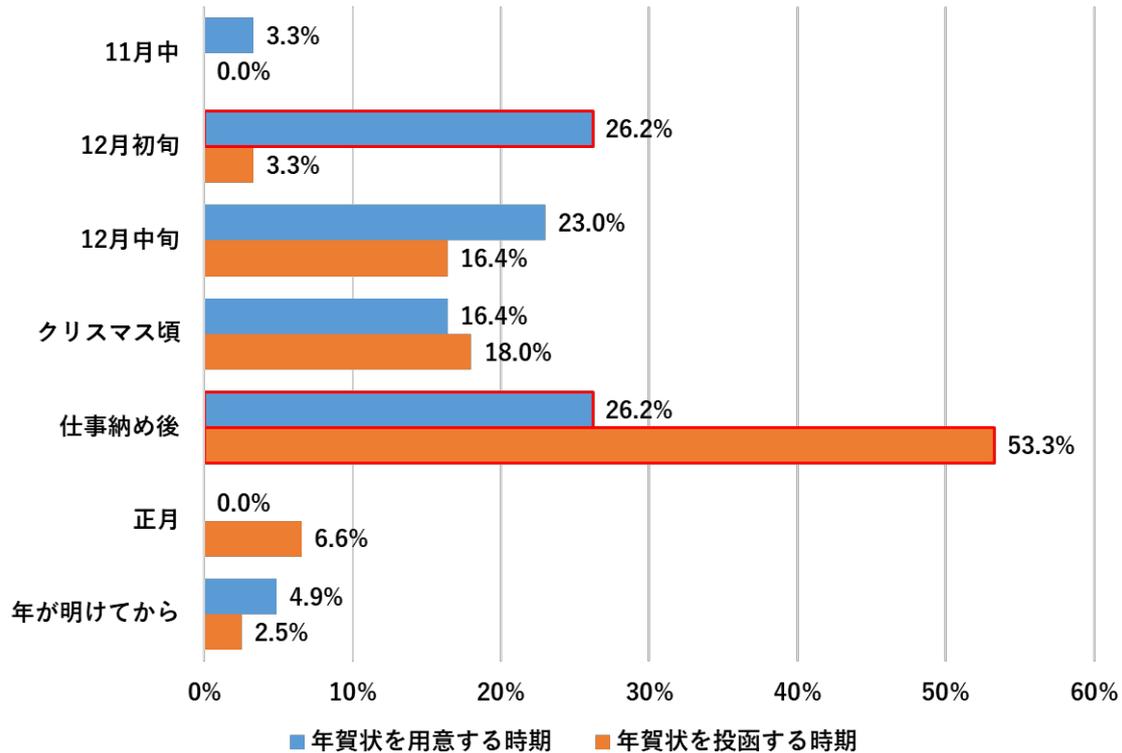
1-1 年賀状の予定(N=401 単一回答)



1-2 年賀状を出す理由 N=244 / 出さない理由 N=157

年賀状を出す理由 N=244 複数回答			年賀状を出さない理由 N=157 複数回答	
第1位	新年の挨拶として	85.2%	LINE等メッセージアプリで代用	59.9%
第2位	日頃、御無沙汰しているので	52.5%	準備が面倒	52.2%
第3位	コロナ禍で会えていないので	39.8%	出す相手がいない	31.2%
第4位	毎年、年賀状をもらうので	39.3%	コロナウイルスが気になって	24.8%
第5位	近況報告	34.4%	喪中	23.6%
第6位	お世話になっている(なった)ので	31.1%	年賀状を貰っても嬉しくない	21.7%
第7位	手紙をやり取りする貴重な機会	24.6%	メールで代用	21.0%
第8位	習慣で・なんとなく	23.0%	出す習慣がない	12.7%
第9位	親しさを表すしるしとして	18.0%	郵便代などコストがかかる	12.1%
第10位	義理・しがらみで	14.8%	SNS (Facebook, twitter, instagram等)で代用	7.6%

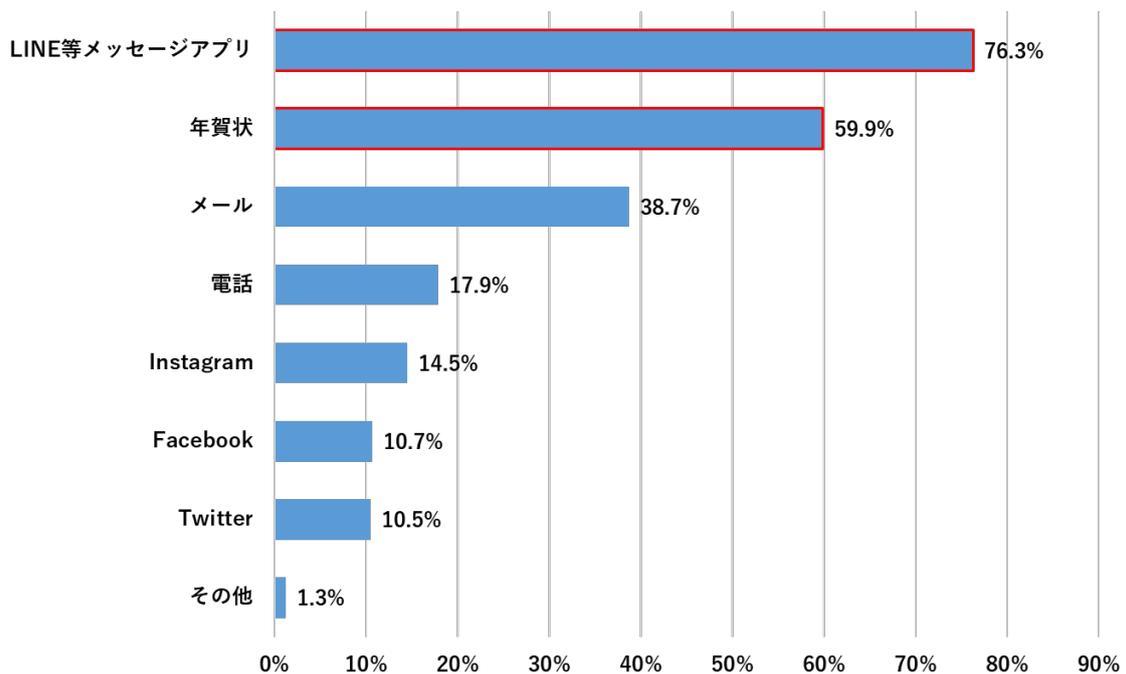
1-3 年賀状の用意を始める時期／投函する時期 N=244 (単一回答)



2. 新年の挨拶に使うツールは「LINE 等メッセージアプリ」がトップだが、「年賀状」も昨年に続き一定の支持。

<新年の挨拶で活用するツール 2-1>について尋ねたところ、昨年に続き 1 位は「LINE 等メッセージアプリ」(76.3%)で、次いで「年賀状」(59.9%)になりました。LINE は新年の挨拶に使うツールとして一般化しているようですが、「年賀状」も昨年とほぼ同数(2020 年:60.7%)の指示を集め、一定の支持を得ている様子がうかがえます。

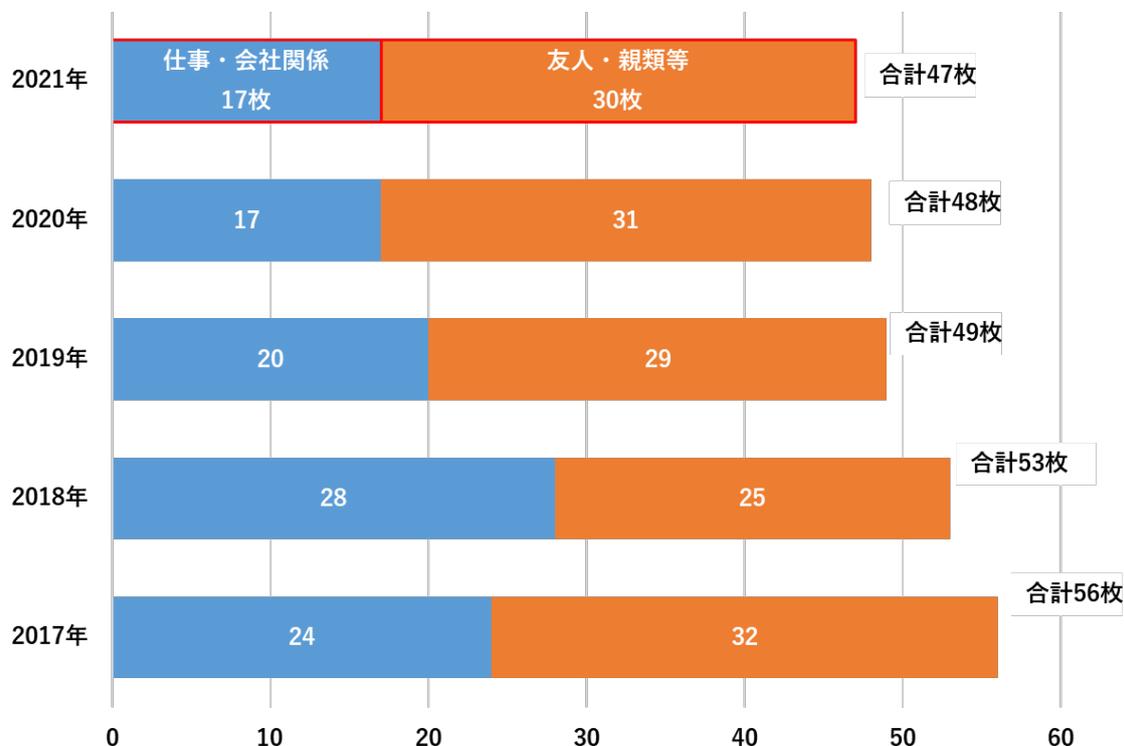
2-1 新年の挨拶で活用するツール N=401 (複数回答)



3. 年賀状を出す枚数は昨年とほぼ同数も、減少傾向は変わらず。

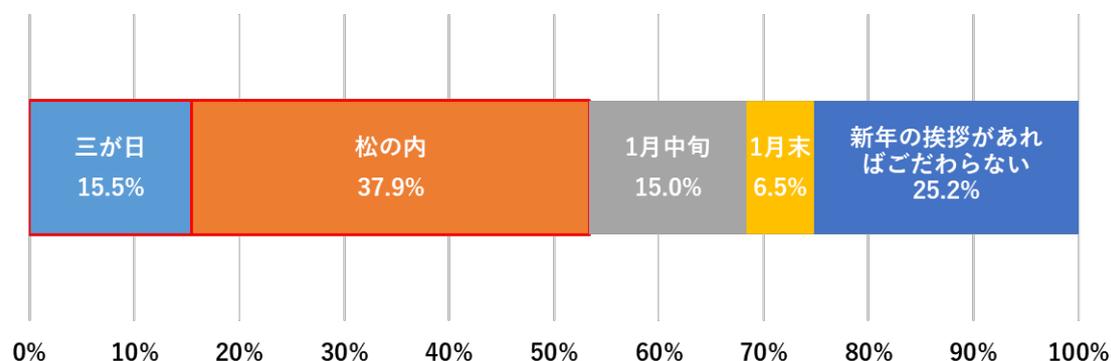
〈年賀状を出す枚数 3-1〉は、平均「47枚」となり、5年連続の減少となりました。なお、今回の調査での年賀状を出す最多予定枚数は50代男性の「250枚」でした。

3-1 年賀状を出す枚数 N=244 (数値自由回答)



〈どの時点までに届くものが年賀状か 3-2〉という質問では、「三が日中」(15.5%)、「松の内」(37.9%)と半数以上が「松の内まで」(53.4%)までに届くものが年賀状と思っていることがわかりました。一方で、「年始の挨拶があればこだわらない」(25.2%)と、新年の挨拶があることを重視している人も多いようです。

3-2 どの時点までに届くものが年賀状か N=401 (単一回答)



4. 年賀状を出す相手、「仕事関係」が増加。一方で出したくない相手でも上位に。

〈年賀状を出す相手 4-1〉は、「友人・知人」(91.8%)がトップになり、「親類関係」(80.3%)が続きました。「親類関係」は、昨年調査と比べ、12.1ポイントもアップし、コロナ禍でなかなか会うことができない2020年の世相を表しているのかもしれませんが。また、「会社等の上司」(47.5%)、「会社等

の同僚」(45.9%)、「取引先等」(37.7%)がそれぞれ大きく数字を伸ばしました。在宅勤務やリモート会議など、働き方が大きく変わり、新年にあらためて仕事関係のつながりを重視したいという様子がかがえます。一方、<できれば年賀状を出したくない相手 4-2>は、半数以上が「出したくない人はいない」(50.9%)と答えました。以降は「会社等の上司」(25.9%)、「会社等の同僚」(23.9%)、「取引先等」(20.2%)等、会社関係が続きます。年賀状を出す相手として数字を伸ばした会社関係でしたが、出したくない相手であることは今年も変わらないようです。

4-1 年賀状を出す相手 N=244 複数回答

2021年		※参考2020年	
第1位	友人・知人	91.8%	91.3%
第2位	親類関係	80.3%	68.2%
第3位	会社等の上司	47.5%	39.9%
第4位	会社等の同僚	45.9%	30.1%
第5位	取引先等	37.7%	27.3%
第6位	学生時代の先輩・後輩	24.6%	28.3%
第7位	恩師・恩人	23.0%	23.8%
第8位	部下	9.8%	8.4%
第9位	息子・娘・孫	6.6%	3.5%
第10位	年賀状友達	4.9%	7.3%

4-2 できれば年賀状を出したくない相手 N=401 複数回答

2021年		※参考2020年	
第1位	出したくない人はいない	50.9%	46.0%
第2位	会社等の上司	25.9%	28.4%
第3位	会社等の同僚	23.9%	23.5%
第4位	取引先等	20.2%	24.4%
第5位	部下	15.7%	13.3%
第6位	親類関係	7.0%	4.7%
第7位	友人・知人	5.7%	3.7%
第8位	年賀状友達	4.7%	2.6%
第9位	彼・彼女	3.0%	-
第9位	息子・娘・孫	3.0%	-

5. 年賀状をもらってうれしいのは「友人・知人」。もらってうれしい年賀状はやっぱり「お手製」で、添えられたメッセージの内容に関心。

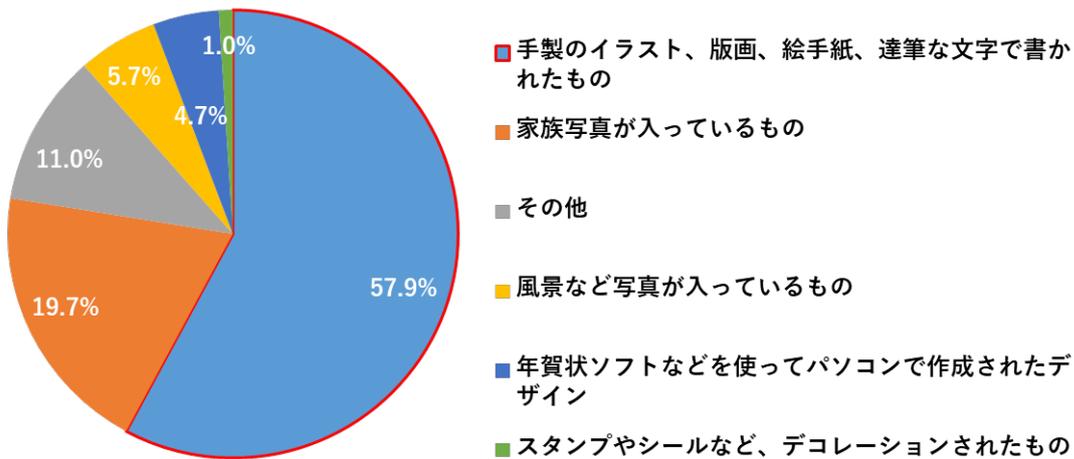
<年賀状をもらって一番うれしい相手 5-1>を聞いてみると、<年賀状を出す相手>と同様に「友人・知人」(55.9%)がトップで、大きく離れて2位に「特にない」(14.2%)となりました。3位には「親類関係」(8.7%)が入っています。

5-1 年賀状をもらって一番嬉しい相手 N=401 (単一回答)

第1位	友人・知人	55.9%
第2位	特にない	14.2%
第3位	親類関係	8.7%
第4位	恩師・恩人	7.5%
第5位	その他	5.0%
第6位	息子・娘・孫	3.7%
第7位	学生時代の先輩・後輩	3.0%
第8位	彼・彼女	1.0%
第8位	取引先等	1.0%

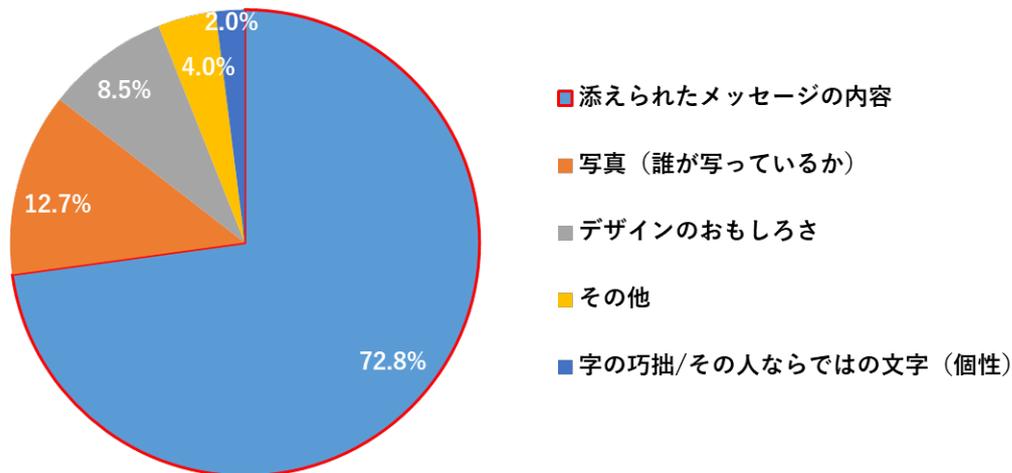
また、<もらって一番うれしい年賀状のタイプ 5-2>を聞いてみると、「手製のイラスト、版画、絵手紙、達筆な文字で書かれたもの」(57.9%)がトップになり、今年も年賀状はお手製が人気なようです。次いで、「家族写真が入っているもの」(19.7%)となりました。

5-2 もらってうれしい年賀状のタイプ N=401 (単一回答)



＜年賀状をもらって一番気になるところは何か 5-3＞については、「添えられたメッセージの内容」(72.8%)が多くを占めました。次いで、「写真」(12.7%)、「デザインのおもしろさ」(8.5%)が回答を集めました。

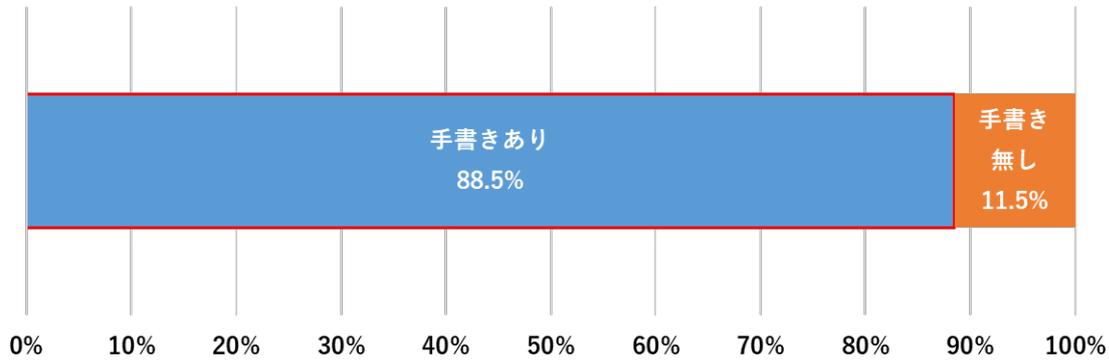
5-3 もらった年賀状で一番気になるところは何か N=401 (単一回答)



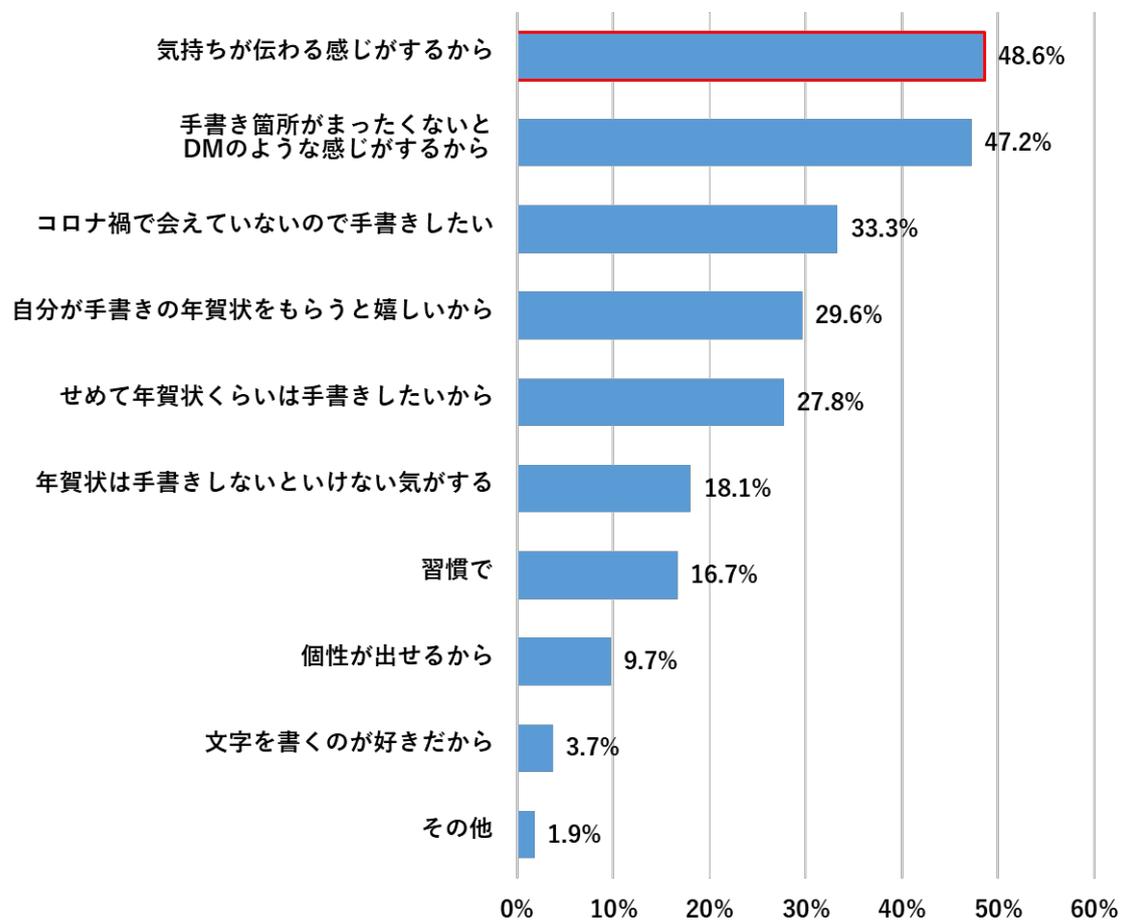
6. 年賀状を出す人の多くは「手書き箇所あり」。年賀状は「気持ちが伝わる」ことを重視。

＜年賀状の手書き箇所の有無 6-1＞を聞くと、88.5%の人が「手書き箇所がある」と答えました。昨年を少し下回りましたが、引き続き多くの支持を集めました。また、「手書き箇所がある」と答えた人に対して、＜年賀状を手書きする理由 6-2＞を尋ねると、「気持ちが伝わる感じがする」(48.6%)がトップで、次いで「手書き箇所がまったくないとDMのような感じがするから」(47.2%)が入りました。また、33.3%の人が「コロナ禍で会えていないので手書きしたい」と回答し、なかなか会えていない人に手書きの年賀状で気持ちを伝えたいという傾向が見られました。

6-1 年賀状の手書き箇所の有無 N=244 (単一回答)

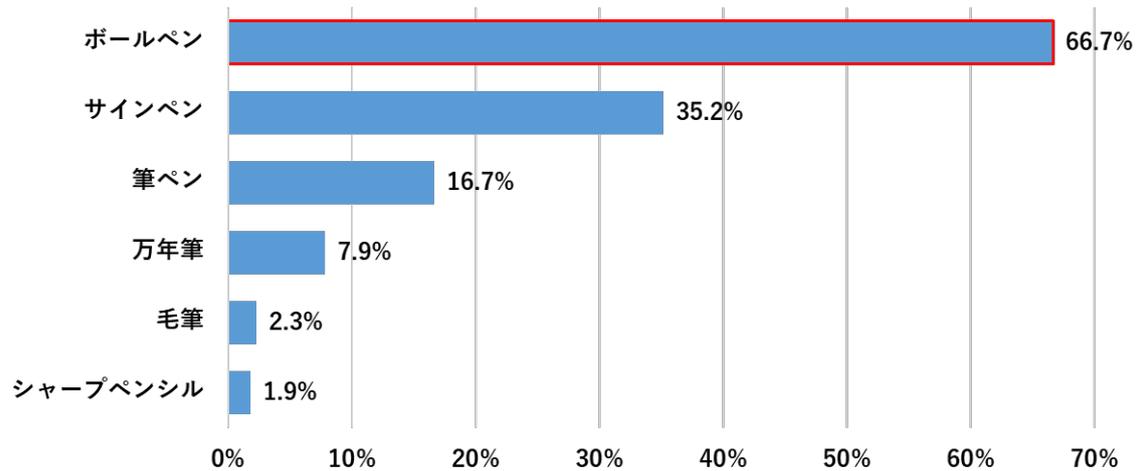


6-2 年賀状を手書きする理由 N=216 (複数回答)



<年賀状の手書きに使う筆記具 6-3>を聞いてみると、「ボールペン」(66.7%)が圧倒的な支持を集めました。次いで、「サインペン」(35.2%)、「筆ペン」(16.7%)が入りました。

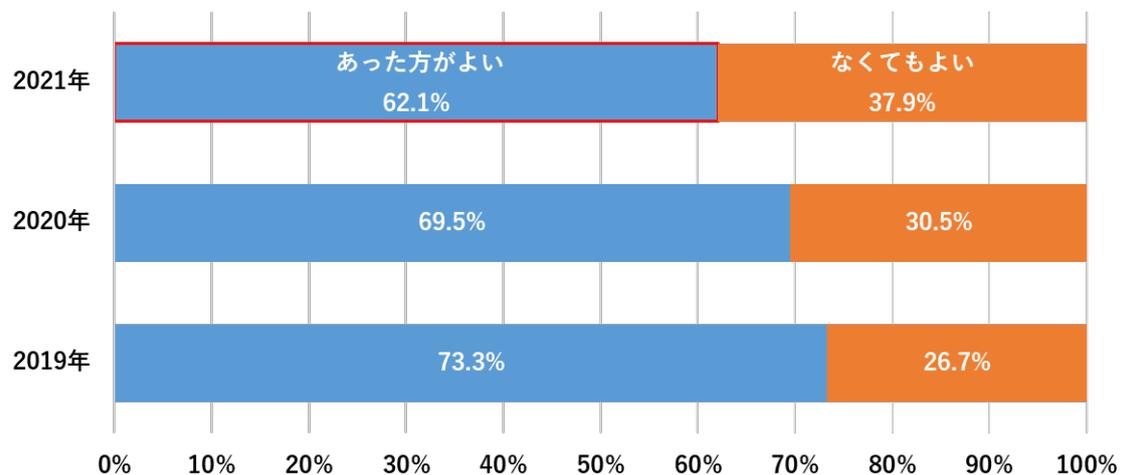
6-3 年賀状の手書きに使う筆記具 N=216 (複数回答)



7. 「年賀状はあった方がいい」は減少傾向だが、「会えない人との連絡が途絶えて困る」、「お正月らしくなくて寂しい」という声も。

＜年賀状があった方がいいか、なくてもいいか 7-1＞について尋ねたところ、62.1%の人が年賀状を「必要」と答えましたが、今年も減少傾向です。＜年賀状があった方がいいか、なくてもいいか理由 7-2＞では、「会えない人との連絡が途絶えて困るから」(45.8%)、「お正月らしくなくて寂しい」(45.0%)となり、年賀状は今でも、会えない人との繋がりを感じられる正月の風物詩であるようです。一方、不要だと思う理由としては、「SNS 等で代用するから」(59.2%)がトップになりました。

7-1 年賀状があった方がいいか、なくてもいいか N=401 (単一回答)



7-2 年賀状習慣があったほうが良い N=249 / なくてもいい N=152 の理由 (複数回答)

あった方がいい理由		なくてもいい理由	
第1位	会えない人との連絡が途絶えてしまい困る	45.8%	SNSなどで代用するから
第2位	お正月らしくなくて寂しい	45.0%	準備する手間が省けて楽になる
第3位	年賀状をもらうと嬉しい	37.3%	出す・出さないを悩まなくてすむ
第4位	日本の伝統や独自の文化が衰退してしまう	31.7%	クリスマスカードなどで兼用